

広島教区地区長、地区センターの皆様
広島教区内小教区主任司祭の皆様、信徒の皆様

第3回広島教区「宣教ひろば」開催のご案内

2025年11月20日

平和の使徒推進本部長 大西勇史 神父

＋主の平和

広島教区で開催する教区シノドス「宣教ひろば」も第3回目を迎えます。今回は地区単位での集いとなります。下記の要領で開催いたしますので、よろしくご参加くださいますようお願いいたします。

1. 第3回宣教ひろば開催にあたって

私たち広島教区では、2回にわたる教区代表者会議（教区シノドス）での分かち合いを経て、広島教区の今後10年間の指針として「ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう」をテーマに2020司教教書をまとめることができました。司教教書には、信徒の皆さんが語られた小教区の課題、教区の課題がまとめられ、私たちは次の10年をこの司教教書を大切にしながら宣教の道を進んでいくことになりました。司教教書には10のテーマ、30のチャレンジが掲載され、それを進めていくための仕組みも多く提案されました。

時を同じくして、教皇フランシスコからは、第16回世界代表司教会議（世界シノドス）を開催が宣言されました。「ともに歩む教会のため一交わり、参加、宣教」をテーマに各教区→日本→アジア→バチカンへと世界規模での活動に発展し、世界シノドスが進められていきました。

このように二つのシノドス（教区シノドスと世界シノドス）は、一見別のものに見えますが、よく中身を見ると、ほとんど同じ視点からの活動となっていることがわかってきました。すなわち、

- ・誰一人排除されず、隅にいる人とともにいること
- ・自分にとって隅にいる人は誰なのかを知ること
- ・聞く姿勢を持ち続けること。他者の話を聞くこと
- ・違いにこだわるのではなく、一致できる点を見出すこと

これらの視点を大切に、分かち合いを行なっていく方法として「霊における会話」が世界シノドスで導入され、日本のカトリック教会もこの「霊における会話」の手法をもとに、今後の歩みを進めていくことが宣言されました。

さて私たち広島教区民も、コロナの時代を経てようやくかつての教会活動を取り戻すことができきて

います。これまで教区の羅針盤であった「司教教書」がこの3年どのように進められてきたか、一度立ち止まって振り返る時期に来ていると思います。その上で、世界シノドスで始まった「霊における会話」の手法を学びながら、皆さんお一人おひとりが、キリスト信者としてシノドスの歩み（教区シノドス、世界シノドス）をどのように生きることと呼ばれているかについて、3地区に分かれて分かち合いを進めていただければと思います。

2. 開催要領

- (1) 開催日時：2026年2月23日（月・祝）13時～17時
- (2) 開催方式：原則として各地区1箇所集合し、それぞれをZoomで繋いでハイブリッド形式で開催
- (3) 参加者：各小教区司祭、助祭、修道者、地区宣教司牧評議会にご参加の信徒の皆様、その他参加ご希望の方

参加者は各地区にて決定してください。各地区センターは出席者名簿を 2026年1月30日（金）までに 平和の使徒推進本部にお送りください。

- (4) 当日スケジュール

12時～13時：参加者登録

13:00～13:05（5分）開催挨拶（Zoom）

13:05～13:10（5分）今回の「宣教ひろば」の進め方説明（Zoom）

13:10～14:00（50分）座談会

「広島教区におけるシノドス的活動の振り返りと

バチカン最終文書「シノドス流の教会」について」（予定）

14:00～14:15（15分）「霊における会話」の進め方（Zoom）

14:15～14:30（15分）休憩

14:30～16:00（90分）「霊における会話」（各地区にてグループ別に）

霊における会話のテーマ「教区シノドス後の歩みに世界シノドスの光をあて、ともに歩むあたたかさのある教会を目指すために、わたしたちはどのような働きに呼ばれていますか。」

16:00～16:10（10分）休憩

16:10～16:50（40分）各地区からのまとめ発表（Zoom）

16:50～17:00（10分）司教メッセージ、祝福（Zoom）

17:00 解散

以上